

第2回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会議事録

日時：2010年10月22日 14時～16時半

出席：天野、戸塚、山路、井上、前田（以上、委員）

井端事務局長、森下主幹、松本職員

記録：前田

確認事項：

事務局より、最近の状況についての新聞記事等に基づく情報提供があり、論点が説明された。その上で、本協会および委員会がめざすべき方向性が示された。

1. 委員会では学士力を実現するための授業モデルを提案すること
2. 現在の授業レベルではなく、5年後を見据えて社会のニーズに合致した授業をめざすこと
3. 学術会議や産業界、文部科学省などが提案する内容よりも現実の学生を認識した現場立場での提案であり、かつ、世界レベルを意識したものにする

協議事項：

委員から授業モデルのプレゼンテーションがあり、内容に基づく議論がなされた。結果、以下のことが合意された。

- ・本委員会では人権、平等、平和をベースにSWの専門職の価値・倫理に根ざしたグローバル基準を意識した内容にすること
- ・学生が感じ取る力、考える力、共感して関わることができる力を事例演習などの中から獲得できるようにすること
- ・テキストの難解なことばを現場の言葉にかみくだき、学生に提示する必要性
- ・イーラーニングによりICT演習室でも可能な授業設計
- ・現実の場面や現場、実物に生で触れさせる機会をICTを活用することで教育する
- ・記述力の徹底、読み書きの繰り返し
- ・ファシリテーター、TAなどの配置
- ・行政や社会に訴えかけていくような授業モデル

次回の日程：12月18日（土）13時～

次回の宿題：到達目標別のモデル案の作成